

平成 29 年 7 月 10 日
株式会社マイクロコンテンツ
株式会社クイーリー

暗号化技術とクラウド技術の融合で安心・コスト削減の ASP サービスの提供

マイクロコンテンツとクイーリー、 電子で行う「献本」サービスを開始

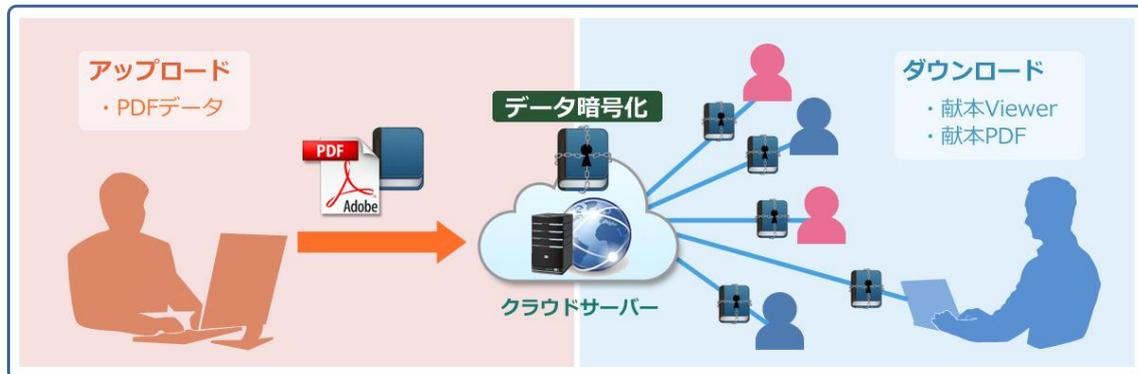
株式会社マイクロコンテンツ(本社:東京都中央区、代表取締役 社長:鈴木道典、以下:マイクロコンテンツ社)と株式会社クイーリー(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長:嶋村信行、以下:クイーリー社)は、このほど出版社向けのサービスとして、ローコストな献本を可能とする「電子献本サービス」を開始いたします。「電子献本サービス」はマイクロコンテンツ社が持つ出版業界のノウハウと、クイーリー社が持つデータ暗号化技術をもとに構築した PDF ファイルの送信サービスです。閲覧期限の設定により、受信者はその期限内のみ PDF ファイルを閲覧することが可能です。

●電子「献本」サービスとは

出版界でよく行われている献本には、上梓の際に著者が行う“著者献本”と、講義やゼミのテキスト検討用として大学の教員等に向けて行われる“採用献本”の二種類があります。“著者献本”は、献本数に限りがあるため自著を数多くの人に紹介することが難しく、また、“採用献本”は、発送する書籍が多く、書籍のコストに加え、梱包代、郵送代、人件費が掛かるため、出版社にとって大きな負担となっています。この度開発された「電子献本サービス」は、従来の“著者献本”に電子献本を加えることで、広く自著を紹介でき、“採用献本”の大幅なコストカットを実現する新しいサービスです。従来、高価な本や書店に置かれていない書籍は、その内容を確認することが困難であり、それが購入の妨げにもなっていましたが、「電子献本サービス」を利用すれば、受信者も手軽に書籍の内容を確認することができます。また、「電子献本サービス」の閲覧期限設定により、PDF ファイルの閲覧期間を制限できるため、書籍に魅力を感じた受信者は購入を希望すると容易に想定されることから、実際の書籍や電子書籍の販売にも貢献します。

<補足資料>

【システムイメージ】



■システムの主な特徴

- ・ 献本に使用する PDF データは暗号化 (AES 128bit) します。
- ・ 暗号化した PDF データに閲覧期限を設けることができます。
- ・ 暗号化した PDF データは閲覧専用の「献本 Viewer」で閲覧します。
- ・ 閲覧期限が過ぎたら PDF データは PC から自動的に削除されます。
- ・ 「献本 Viewer」は PC に展開しますが、インストールはされません。

【動作環境】

・送信システム

対応ブラウザ Internet Explorer、Microsoft Edge、Google Chrome、FireFox、Safari 等

・閲覧(献本 Viewer)

対応 OS Windows7 以降

【アップロード画面（PDF データ登録・送信画面イメージ）】



【献本 Viewer（PDF データ選択画面イメージ）】



※記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

以上